

4-1-7-5 臨床心理

1. 概要、特色

1.1 心理スタッフ【心理療法士】

こころの診療部の心理スタッフ（心理療法士）は合計で 19 名である。非常勤職員と非常勤研究員が前年よりも増員した。心理士それぞれの専門分野が異なるため、互いの専門知識や実践内容について、積極的に交流しあいながら仕事をしている。

勤務状況の内訳は、以下のとおりである。

- ・常勤職員 2 名
- ・非常勤職員 6 名
- ・有給研究員（常勤 1 名、非常勤 4 名）
- ・無給研究員（非常勤 6 名）

1.2 年間統計

臨床心理部門への相談件数は、年間合計 3,355 件あった。昨年度と比較すると 600 件の増加となっている。そのうち心理検査を実施したのは 1,010 件（30%）、心理面接を実施したのが 2,345 件（70%）である。

< 件数内訳 >

心理検査	1,010 (30%)
心理面接	2,345 (70%)
計	3,345 件

心理検査と心理面接を実施したのは、外来の患者様に対してがほとんどであった。

< 心理検査を行った患者様の内訳 >

外来	935 (93%)
入院	75 (6%)
計	1,010 件

< 心理面接を行った患者様の内訳 >

外来	2,286(97%)
入院	59 (3%)
計	2,345 件

心理検査では、全体件数のうち、約 80%を発達検査・知能検査が占めている。

< 実施した心理検査の内訳 >

発達・知能検査	827 (82%)
人格検査	21 (2%)

その他の心理検査	162 (16%)
計	1,010 件

1.3 依頼科の内訳

こころの診療部（育児心理科、発達心理科、思春期心理科の 3 科全体）からの依頼が最も多く 5 割強を占めた。他科からの依頼では、総合診療部、神経内科が次いで多くを占めている。その他としては、内分泌科、リハビリテーション科、脳外科、遺伝診療科、産科、新生児科から依頼があった。